

令和6年度実施事業（アクションプランについて） 意見取りまとめ

資料③

シート番号	【総評、課題分析及び次年度以降の改善・見直し】に対する委員からの意見	市の考え
全般に対する意見	本シートは、現状の課題に対して今年度の取り組み内容が記され、その進捗に対して総評が記されていると理解していますが、すべての項目において総評が漠然としており、課題分析においても、期首より想定される課題がそのまま結果として述べられている箇所が多い印象を持ちました。	アクションプランの体系に対してどうだったかを総評や課題分析、次年度以降の改善・見直しとして記載しておりましたが、いただいた意見をもとに少し深掘した総評、課題分析、次年度以降の改善・見直しを追記しました。
	シート3・4・5について、総評が抽象的で漠然としており、課題の分析が浅い、「検討」「考える必要がある」でよいのでしょうか。改善・見直し手法について、もっと具体的に考えるべきでは。	上に同じ
	シート6～12について、実施前の課題が解決につながっておらず、課題の分析が実施前から改善すべきであった点が多く、「とりあえずこれやりました。」で終わっている。	年度ごとに分析を行い、改善していくを繰り返しながら中間検証を行い観光創造ビジョンに基づいた長期プランに沿った形での成果を創出したい。
	取り組み内容とその結果に対しては、より詳細な分析を行い、成果に至らなかった原因の本質を深く追求しておかないと、次年度以降の具体的な施策効果には繋がらないのではないのでしょうか。	上に同じ
	施策の具体的な取り組みについて、市観光課と観光振興協会での所管は明確なのでしょうが？双方、相互の信頼関係に基づき役割とミッションの明確化が必要だと思います。	市の施策の方向性に基づき、市が委託する事業や補助対象とする事業に取り組んでいるほか、その他独自事業に取り組むなどの役割を担っております。お互いのミッションを遂行するために岸和田市観光振興協会と協力しながら一体で魅力ある事業を実施していきたい。
1	観光のポータルサイトとして、基本情報・イベント・消費拡大につながる、食べる・買う・遊ぶの情報等と、地元民ならではのブロガーネタ等とのバランスが、リニューアルで改善はされたものの、機能として課題が残っている。課題分析の深堀(原因の深堀)、それに対する対応策についても、昨年度とあまり変わらない。	年間の記事数や閲覧数などアクセス分析しています。その中で関心の高いものなどは把握しているので他のプロモーションと調整して取組んで参ります。
	「【数値目標】の平均滞在時間：1分20秒程度→2分01秒」について、どのSNSの平均滞在時間でしょうか。SNSによって滞在時間が異なると思いますので、SNSごとに目指す滞在時間を提示したほうが良いかもしれません。また、2分01秒の数値目標は、何を基準にして算出された時間なのか、委員会の際にご教示いただけますと幸いです。	2分01秒は、岸ぶらの滞在時間で、SNSの滞在時間ではありません。
	SNSと連動したプロモーションの概要が見えてこないため、具体的な提案が欲しい。ウェブサイトとしては、「地元情報」が良い。地域の人たちがイベント情報などを定期的に見るサイトになると、そこから観光のロコミなどにもつながるのではないかな。そのために最低限のイベント概要(もしくはポスターなどのPDF)や店舗情報などは入れるといったルールが必要ではないか。	SNS相互にサイトを紐づけるなどのSNSからでも周知できるよう検討したい。観光のロコミにも繋がっていくと考える。SNSとの連動についてはインスタ投稿などイベントをきっかけにフォロワー登録を促すことで岸和田の発信を増やす。
2	プレス発信による、一定の効果が得られたとは言え難く、課題分析・次年度以降の見直しについても甘い。武者行列以外、プレス発信によって、どれだけの来訪や申込があったのか、再考要。	武者行列同様他のプレスについてはイベント告知はもちろんですが、認知度を高めることを目的としている。中間検証まで引き続き発信内容とターゲットを精査した上で、今後も積極的なプレス発信を実施していきたい。
	プレス発信には仕掛けを意識すべき。イベントに新しい要素を盛り込む(Ex. 子供や大学生などを巻き込む、SDGs的な動きなど)ことで掲載率は上がるため、プレス発信をするイベントとの連携が非常に重要。	いただいたご意見をもとに発信内容とターゲットを精査し、メディア等媒体に応じた告知計画を立て引き続き積極的なプレス発信を実施していきたい。
	メディア掲載が効果的なプロモーションであることが再認識されたとのことなので、一歩進めてメディアと合同で行うプロモーションキャンペーンを行ってはどうか。	事業内容を早めに固め、有効なプロモーション期間を設けるため、メディアを含めた媒体に応じた告知計画を立てて発信してまいります。
3		
4	インバウンド市場の開拓について、関西空港駅旅の広場(駅の改札前の広場)1週間PRブースを設置することによって、訪日外国人観光客の岸和田に対する認知度の向上は期待できると思います。ただ、来日前に旅程を決めた観光客(特に初来日の観光客)が多いため、ターゲット市場向けの事前プロモーション活動も重要です。例えば、中国人観光客が旅程を決める際によく使う情報サイトである「小红书(日本語訳: レットブック)」に、岸和田市の観光情報を発信するの一案です。	いただいたご意見をもとにインバウンドの旅前情報サイトを活用したり、予定の決まったインバウンドには再来日時に立ち寄ってもらえるよう実施体制を整え効果的なプロモーションを実施します。
5	課題分析に、「既存の商品の組み合わせも考える必要がある」を追記 香港・台湾向けに販売;岸和田城体験ツアーといちご狩りを組み合わせ販売など	いただいたご意見をもとに課題分析に追記しました。ツアーの可能性の幅を持たせることは非常に大事なことであり検討していきたい。旅行事業者コンテンツとし認知されるよう努める。
6	だんじり祭当日はもちろん、だんじり文化(①木の文化②音の文化③人・組織の文化④曳行の文化)を活かした通年観光の促進の強化は岸和田観光の最重要である。 だんじり会館の企画提案事業(例:鳴物の競演、各町のだんじり紹介(歴史・彫り物等)入魂式の日程等一層の活発化と同時に観光課の協力が要である。	企画提案事業について貴重な意見をいただいた。指定管理者に働きかけだんじり文化を活かした通年観光の促進強化として、指定管理者と協力しながら市民と一体となる魅力ある事業を実施していきたい。
	アンケートなどを見る限り、クロス分析などでもう少し詳細な分析ができるのではないかな。それぞれの体験イベントを分析・評価することで、インバウンドも含め、観光客向けのブラッシュアップされたイベントの提案にもつながると考える。	アンケートといただいたご意見を基に専門的な分析をしてもらえる業者から意見をもらう運用を考えながら市内の参加者だけでなく、インバウンドを含め市外の参加者の増加も見込みたい。また、より魅力のあるコンテンツを目指したい。
7	参加者の満足度・再訪意欲が高いツアーとなったとのことなので、次年度以降も記載があるように、継続して取り組んで定着化していただき、稼げるツアーに育てて行ってほしい。	事業者と協議の中で団体客のオペレーションについて受入体制の課題を解消し、ブランド化を目指す。
8	実施したそれぞれのイベントがどのようなターゲットに刺さったのか、どのように評価されたのかを分析することで、注力かつ継続すべきイベントを明確にすることが重要。	実施イベントを専門的な分析をしてもらえる業者から意見をもらう運用を考えながら、どのイベントが効果的で意味のあったものかを選定し事業費を見ながら継続の必要性のあるものに注力したい。
9	自転車による観光スポット周遊を促進することに異論はありませんが、自転車に乗ることができない人のために、例えばバス事業者やタクシー事業者と連携しながら少人数でも周遊できる方法を考えてもよいのではと思います。	高齢者等移動手段に制限される方が周遊できるよう関連部署や交通事業者と連携できるよう協議していきたい。
	参加者数だけでなく、単価(4400円)を上げることで、より付加価値の高い観光コンテンツ(観光商品)を提供することも重要と思います。	付加価値の高い観光コンテンツとなるよう次年度は事業に参加してもらえる宿泊施設や飲食店を増やし、参加者に特典を付与する等消費額の増加を目指したい。
10	(1)と(2)は数値目標には届かなかったが、新たな観光コンテンツを育てるという意味で、改善し、継続していくべきではないか。これまでに惹きつけられなかったターゲットであり、データとしても貴重である。クロス分析で詳細に分析し、更なるイベントのブラッシュアップに繋げる必要がある。	サイクリストという新たな層のターゲットを発見できたこと、サイクリストだけでなく市民の方にも参加してもらえるコンテンツとなるよう専門的な分析をしてもらえる業者から意見をもらいながら継続的に事業を実施していきたい。
11	「生活にも配慮した観光地としての基盤整備」ということであれば、観光公害に対する方策もハード、ソフト両面から考える必要があると思います。	観光公害について生活環境に配慮できるよう交通や環境の部署と協議し意見をもとに対策を検討したい。
12	歴史や文化を次世代に継承していくためには、岸和田の子どもたちへの継続的な働き掛けが重要です。岸和田の子供たちに、岸和田の(自らの校区の)歴史や文化を知り、学ぶ機会を積極的に設けることが求められると思います。例えば、学校教育の場(校内学習、校外学習)にその機会を数多く設けることが必要ではないでしょうか。	歴史や文化を次世代に継承していくため学ぶ機会のある学校教育の部署へ働きかけ、気軽に参加できる企画を立案し、市内の歴史文化に触れるきっかけづくりを提供したい。
	次世代の郷土愛を育てるとともに岸和田市の歴史、文化、特にだんじり文化を継承するためにも小学生によるだんじり絵画の募集とコンクール実施が必要である。入選作品をだんじり祭の重用な備品であるうわに転写し利用する。 だんじり会館企画提案事業としてだんじり絵画教室の再開も。	いただいたご意見を基にだんじり会館企画提案事業として指定管理者と協議していきたい。
	だんじりの魅力を発信してくれる可能性を持つ市民に対するだんじり講座は、岸和田市への愛着形成のためにも継続すべきであると考えている。特に、引越などで新たにこの地に来た人などに「だんじり」文化を知ってもらうことは重要。その際、親子向け、若者向けといった形で様々な参加者を想定したプログラムが準備できると良いのではないかな。	だんじり講座は、岸和田市への愛着形成に重要と考える。誰もが気軽に参加できる企画を実施したい。